

### 第三セクターの経営情報について

平成28年8月18日  
港湾空港局物流振興課

報告対象団体		北九州貨物鉄道施設保有株式会社
会社概要	会社の事業内容	(1) 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付 (2) 倉庫業 (3) 駐車場業 (4) 広告業 (5) 前各号に付帯関連する一切の事業
	資本金額	400,000 千円
	本市の出資額	196,000 千円
	本市の出資割合	49.0 %
	従業員数	1 人
営業報告の要点		<p>施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において構内の軌道設備補修、監視カメラ用制御装置修繕、断路器用電源切替装置修繕、電子連動装置の電子端末架内基盤取替及び結線修繕、電気転てつ機取替、構内無線基地局修繕を日本貨物鉄道株式会社施工で行った。</p> <p>日本貨物鉄道株式会社からの施設使用料収入は、16,621千円減の339,778千円となった。</p> <p>今後とも、財産の管理及び借入金の着実な返済を行っていくとともに、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め、環境にやさしい鉄道貨物輸送の拡大と地域の発展に寄与していく。</p>
収支状況の要点	当期純利益（損失）	2,052 千円
	前年度との比較	<p>○営業利益は、83,566千円で、前期比15,881千円（-16.0%）の減となった。</p> <p>○経常利益は、3,552千円で、前期比768千円（-17.8%）の減となった。</p> <p>○当期純利益は、2,052千円で、前期比158千円（-7.1%）の減となった。</p>
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	北九州貨物ターミナル駅整備（門司貨物拠点整備事業）及び鹿児島線鉄道貨物輸送力増強事業に係る借入金について、196百万円の返済を行った。
利益（損失）処分	当期末処分利益（損失）	-4,331 千円
監査報告		監査役1名が監査した結果、適法かつ正確であった。
議案		<p>第1号議案 第17期計算書類承認の件</p> <p>第2号議案 取締役5名選任の件</p> <p>第3号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件</p> <p>いずれの議案も異議なく承認可決</p>

（平成28年3月31日現在）

## 第17回定時株主総会

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 開催日時 平成28年6月17日（金曜日） 13時30分より
2. 開催場所 福岡県北九州市小倉北区浅野1丁目1番1号  
ステーションホテル小倉 5階「帆柱の間」
3. 目的事項
  - 【報告事項】 第17期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）  
事業報告の件
  - 【決議事項】
    - 第1号議案 第17期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）  
計算書類承認の件
    - 第2号議案 取締役5名選任の件
    - 第3号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

## 第 17 回定時株主総会議案書

### 報告事項

第 17 期（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）事業報告の件  
（別 紙）

### 決議事項

第 1 号議案 第 17 期（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）  
計算書承認の件  
（別 紙）

第 2 号議案 取締役 5 名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第 20 条により、取締役の任期は 2 年と定めており、現 遠藤雅彦取締役、服部守男取締役、阿高和憲取締役、権藤宗高取締役及び畑尾利男取締役が任期満了となります。

下記のとおり、取締役 5 名の選任をお願い致します。

取締役候補者は、次のとおりです。

取締役候補者名	略 歴 等
遠藤 雅彦	重 任
服部 守男	重 任
西田 幸生	新任・略歴等別紙
権藤 宗高	重 任
小西 一史	新任・略歴等別紙

第 3 号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

取締役畑尾 利男は、本総会終結の時をもって退任されますので、在任中の功労に報いるため、当社役員退職慰労金算定内規に従い、相当額の範囲内において慰労金を贈呈いたしたいと存じます。具体的金額、贈呈の時期、方法等は取締役会の協議に一任いただきたいと存じます。

退任取締役候補者名	略 歴 等
畑尾 利男	平成 24 年 6 月 21 日 定時株主総会にて取締役選任
	現在に至る

# 第 17 期

〔 平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで 〕

## 事業報告

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## 事業報告

〔平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで〕

### I. 株式会社の現況に関する事項

#### 1. 事業の経過及びその成果

平成11年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した、門司貨物拠点整備事業の設備が平成14年3月に完成し、さらに平成19年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成23年3月末に完成しました。

両事業で設備した施設の当該事業年度における維持管理につきましては、北九州貨物ターミナル駅において、構内の軌道設備補修、監視カメラ用制御装置修繕、断路器用電源切替装置修繕、電子連動装置の電子端末架内基盤取替及び結線修繕、電気転てつ機取替、構内無線基地局修繕を日本貨物鉄道株式会社で実施するとともに、JR九州の依頼によるATS-DKの敷設のために鉄まくらぎを撤去しました。また、福岡貨物ターミナル駅では貨物15番線車止標識の修繕を日本貨物鉄道株式会社の施工で実施しております。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っておりますので、今後とも日本貨物鉄道株式会社と連携を図り、鉄道施設の維持管理に努めてまいります。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、340百万円となり、当事業年度の長期借入金返済については、みずほ銀行へ59百万円及び日本政策投資銀行へ136百万円の返済を行いました。

販売費及び一般管理費は256百万円となっております。

以上のような状況のもと、経常利益は3,552千円となりました。

#### 2. 当社が対処すべき課題

当社の主たる事業は、国並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守・維持管理が重要となっております。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と適正な保守及び維持管理に努めてまいりますとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら着実な長期借入金の返済を行ってまいります。

また、当該事業年度におけるわが国経済は、特に下半期に入り国内消費が伸び悩んだほか、景気の停滞から未経験のマイナス金利政策が導入され金融市場が不安定な動きを示すなど、先行きの不透明さが増す状況ではありますが、今後も、これまで以上に日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め、鉄道貨物輸送の拡大と地域の発展に寄与してまいります。

3. 資金調達状況

当期は、増資はありません。

4. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区分	期	第14期	第15期	第16期	第17期
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	(当期) 平成27年度
売上高	(千円)	351,428	348,516	356,399	339,778
経常利益	(千円)	4,393	3,970	4,320	3,552
当期純利益	(千円)	2,682	2,201	2,210	2,052
1株当たり当期純利益	(円)	335円31銭	275円14銭	276円29銭	256円52銭
総資産	(千円)	4,078,730	3,885,803	3,704,950	3,495,268
純資産	(千円)	389,205	391,406	393,616	395,668

5. 主要な事業内容及び事業所

(1) 事業内容

当社は、(i) 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付、(ii) 倉庫業、(iii) 駐車場業、(iv) 広告業、(v) 前各号に付帯関連する一切の事業を営むことを目的としております。

(2) 事業所

本社所在地 北九州市門司区大里新町11番1号

6. 使用人の状況

平成28年4月1日現在

性別	従業員数	記事
男子	0名	空席
女子	1名	契約社員
計	1名	

7. 主要な借入先及び事業別の借入残額

(単位：百万円)

借入銀行	事業名		合計
	門司事業	鹿児島モーダル事業	
日本政策投資銀行	518.0	780.0	1,298.0
みずほ銀行	935.0	850.5	1,785.5
計	1,453.0	1,630.5	3,083.5

## II. 株式に関する事項

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. 発行可能株式の総数 | 32,000株 |
| 2. 発行済株式の総数  | 8,000株  |
| 3. 株主数       | 3名      |
| 4. 株主名       |         |

株主名	持株数	持株比率	株主への当社の出資状況
日本貨物鉄道株式会社	3,920株	49.0%	なし
北九州市	3,920株	49.0%	なし
株式会社 みずほ銀行	160株	2.0%	なし
計	8,000株	100.0%	

## III. 会社役員に関する事項

### 1. 取締役及び監査役の氏名等

平成28年4月1日現在

氏名	地位	他の法人等の役職
遠藤 雅彦	代表取締役社長	日本貨物鉄道(株) 執行役員九州支社長
服部 守男	専務取締役	常勤取締役
阿高 和憲	取締役	北九州市 八幡西区長
権藤 宗高	取締役	北九州市 港湾空港局長
畑尾 利男	取締役	常勤取締役
(小計)	(5名)	
高橋 顕	監査役	日本貨物鉄道(株)総合企画本部投資計画室長
笠間 仁志	監査役	(株)みずほ銀行 執行役員営業第十五部長
(小計)	(2名)	
合計	7名	

(注)

- (1)取締役服部守男氏、同阿高和憲氏及び監査役笠間仁志氏、同高橋顕氏は、平成27年6月25日開催の第16回定時株主総会において就任いたしました。
- (2)取締役日笠山誠氏、同江副春之氏及び監査役小谷浩史、同花岡俊樹氏は、平成27年6月25日開催の第16回定時株主総会をもって辞任いたしました。
- (3)取締役阿高和憲氏及び権藤宗高氏は、会社法第2条15号に定める社外取締役であります。
- (4)監査役笠間仁志氏及び高橋顕氏は、会社法第2条16号に定める社外監査役であります。

### 2. 取締役及び監査役の報酬等の額

(単位：千円)

区分	人数	報酬等の額	適用
取締役	2名	12,189	

# 第 17 期

〔 平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで 〕

## 計 算 書 類

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社



# 貸借対照表

平成28年3月31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 遠藤 雅彦

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【Ⅰ 流動資産】	【	【Ⅰ 流動負債】	【
現金・預金	161,862】	短期借入金	209,392】
未収入金	161,475	1年以内返済長期借入金	0
前払費用	0	未払金	196,400
繰延税金資産	173	未払費用	0
未収還付消費税	213	未払利息	360
	0	未払法人税等	6,304
		未払消費税等	848
		預り金	5,478
【Ⅱ 固定資産】	【	【Ⅱ 固定負債】	【
有形固定資産	3,333,405】	長期借入金	2,890,207】
建物及び設備	( 2,300,357 )	長期未払金	2,887,100
構築物	359,594	役員退職慰労引当金	393
機械・装置	3,615,234	その他の固定負債	2,714
工具器具備品	46,245		
土地	692		
リース資産	10,503		
減価償却累計額	1,036		
	△ 1,732,948	負債の部合計	3,099,599
		純資産の部	
無形固定資産	( 1,033,047 )	【Ⅰ 株主資産】	【
電話加入権	72	1. 資本金	395,668】
ソフトウェア	0	2. 利益剰余金	400,000
鉄道軌道連絡通行	0	其他利益剰余金	△ 4,331
施設利用権	1,032,975	繰越利益剰余金	△ 4,331
投資等	( 0 )	【Ⅱ 評価・換算差額等】	【
			0】
		純資産の部合計	395,668
資産の部合計	3,495,268	負債・純資産の部合計	3,495,268

(注) 1. 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株あたりの当期純利益 256円52銭

## 損 益 計 算 書

平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
(営業損益の部)		
施設貸付料	339,778	
管理収入	0	339,778
販売費及び一般管理費	256,212	256,212
営業利益		83,566
(営業外損益の部)		
受取利息	44	
雑収入	11	55
支払利息	76,863	
補償負担金	3,205	80,068
経常利益		3,552
特別損益の部		
特別利益		
特別損失	223	223
税引前当期純利益		3,328
法人税等		1,208
法人税等調整額		68
当期純利益		2,052

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 販売費及び一般管理費の計算内訳

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

	(単位：円)
役員報酬	12,189,600
出向者負担金	571,360
事務員給与	2,117,360
事務員賞与	444,460
法定福利費	2,245,685
福利厚生費	38,883
役員退職慰勞引当金繰入	1,465,200
通勤費	637,278
租税公課	38,108,291
旅費交通費	953,385
通信費	297,866
広告宣伝費	546,056
交際費	621,723
保険料	112,420
消耗品	103,100
減価償却費	190,237,985
地代家賃	289,830
修繕費	14,982
賃借料	1,367,000
車両費	39,620
管理諸費	2,726,332
図書新聞費	116,155
諸会費	67,500
少額備品	
リース料	473,400
寄付金	169,000
会議費	192,603
公告料	
支払手数料	65,100
雑費	
合 計	256,212,174

## 棚卸資産の計算内訳

平成28年3月31日現在

	(単位：円)
商 品	0
製 品	0
貯 蔵 品	0
仕掛品(半製品)	0
合 計	0

## 株主資本等変動計算書

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで  
(単位:円)

<b>I 株主資本</b>			
<b>1. 資本金</b>			
	当期首残高		400,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>400,000,000</u>
<b>2. 利益剰余金</b>			
<b>(1) その他利益剰余金</b>			
<b>繰越利益剰余金</b>			
	当期首残高		-6,383,392
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,052,182</u>	<u>2,052,182</u>
	当期末残高		<u>-4,331,210</u>
<b>その他利益剰余金合計</b>			
	当期首残高		-6,383,392
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,052,182</u>	<u>2,052,182</u>
	当期末残高		<u>-4,331,210</u>
<b>株主資本合計</b>			
	当期首残高		393,616,608
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,052,182</u>	<u>2,052,182</u>
	当期末残高		<u>395,668,790</u>
<b>II 評価・換算差額等</b>			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>III 新株予約権</b>			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>純資産の部合計</b>			
	当期首残高		393,616,608
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,052,182</u>	<u>2,052,182</u>
	当期末残高		<u>395,668,790</u>

# 第 17 期

〔 平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで 〕

計 算 書 類 に 係 る

附 属 明 細 書

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首	当期			期末	減価償却 累計額	取得原価
		帳簿価格	増加額	減少額	償却額	帳簿価格		
有形 固定 資産	建物	200,147	0	0	8,757	191,390	114,452	305,843
	建物付属設備	13,356	0	0	3,115	10,240	43,510	53,751
	構築物	2,209,216	0	15	128,939	2,080,261	1,534,973	3,615,234
	機械及び装置	10,204	0	0	2,700	7,504	38,740	46,245
	器具及び備品	145	0	0	63	82	609	692
	土地	10,503	0	0	0	10,503	0	10,503
	リース資産	547	0	0	172	374	662	1,036
	計	2,444,121	0	15	143,748	2,300,357	1,732,948	4,033,304
無形 固定 資産	電話加入権	72	0	0	0	72	0	72
	通行施設利用権	1,078,546	0	0	45,570	1,032,975	307,334	1,340,310
	ソフトウェア	909	0	0	909	0	4,960	4,960
	計	1,079,527	0	0	46,479	1,033,047	312,294	1,345,342
総計	3,523,648	0	15	190,227	3,333,404	2,045,242	5,378,646	

(注) 記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

2. 引当金の明細

(単位：千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	0	0	0	0
賞与引当金	0	0	0	0
役員退職慰労金	5,958	1,465	4,709	2,714
退職給付引当金	0	0	0	0

(注) 記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

※引当金の計上理由及び算定方法は計算書類の重要な会計方針に記載のとおりです。

# 第 17 期

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

## 個 別 注 記 表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却方法

#### (1) 有形固定資産

定額法を採用しています。

#### (2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

### 2. 引当金の計上基準

#### (1) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

### 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### 4. リース取引の処理方法

(1) 平成23年度までのファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

(2) 平成24年度以降のファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、リース資産会計処理を行っております。

### 5. ヘッジ会計の方法

#### (1) ヘッジ会計の方法

金利スワップの特例処理を行っております。

#### (2) ヘッジ手段とヘッジ対象

当事業年度にヘッジ会計を適用した手段とヘッジ対象は、以下のとおりであります。

ヘッジ手段：金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段としております。

ヘッジ対象：長期借入金

#### (3) ヘッジ方法

①金融取引における将来の金利変動等によるリスクを回避する目的で行っております。

②金利スワップは実需の範囲内で行っており、投機的な取引は行わない方針であります。

## II. 貸借対照表に関する注記

### 1. 有形固定資産の減価償却累計額

1,732,948千円

### 2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

#### (1) 短期金銭債務

0千円



### III. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との営業取引の取引高総額 339,778 千円

### IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済総数 普通株式 8,000 株

### V. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生原因内訳

未払事業税	681 千円
合計	681 千円

### VI. 関連事業者との取引に関する注記

1. 名称 日本貨物鉄道株式会社

議決権割合	49 %		
取引内容	営業取引	営業収益	339,778 千円
		営業外収益	11 千円
		営業費用	1,561 千円
		営業外費用	0 千円

### VII. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は 49,458円59 銭

2. 一株当たり当期純利益金額は 256円52 銭

### VIII. 会計方針の変更

特記無し

(注) VII以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

平成28年6月1日

北九州貨物鉄道施設保有株式会社  
代表取締役社長 速藤 雅彦殿

監査役 笠間 仁志

監査報告書の提出について

会社法第381条1項の規定に基づき、別紙のとおり監査報告書を作成いたしましたので提出いたします。

以上

平成28年6月1日

監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役

望月 仁次

第17期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の職員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決議文書及び報告書を開覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めるとともに、実地調査を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属説明書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上